高十七回

古希記念同期会

同期会は一気に高校時代に戻ることができるタイムマシーン。高十七回古希記念と卒業五十周年の同期会が、平成二十七年十一月八、九の両日、市内番神「岬ひとひら」で開かれました。

県内外から女性十七人、男性四十四人の合わせて六十人超が参加しました。早めの到着組は、幹事団が作成した卒業アルバムからとった顔写真付きのネームプレートと当人を見比べては肩をたたき合い、あちこちで白髪頭の高校生に戻った風景が展開されました。

地元幹事の藍澤憲雄君の司会で懇親会開始。まずは若山正樹君が用意したパワーポイントによる〝柏崎の今昔〟ともいえる映像でスタート。BGMの新井満作曲の「この街で」が効果的で、十八歳当時をくいっと手繰り寄せました。さすが！

高十七回は昭和四十年に三百四十二人が卒業しました。戦後の人口増集団「団塊の世代」の先頭ランナーでした。この間、三十人が亡くなっており、黙とうの時間を設けたのは言うまでもありません。遠方からの参加者代表で茨城県に住む宮島和夫君の音頭で乾杯。地元柏崎在住の池島賢一君の中締めまであっという間でした。

二日目は二十数人の有志で四日ほど前にオープンしたばかりの「かしわざき市民活動センター中越沖地震メモリアル」と「ドナルド・キーン・センター柏崎」を視察しました。特にキーンセンターは月曜休館にもかかわらず同期会のために開館していただきありがたいことでした。車窓から見えた地震からの復興の様子を含め、各自が強い印象を抱いて終の棲家に戻っていったことを付記しておきます。

（名ばかりの代表幹事　山田　修）

米山

三階節で有名な米山（標高九九三m）は、柏崎・刈羽地方のシンボルです。地理的、歴史的、文化的にも上越後と下越後をわける境界でした。これより西は関西圏でブリ文化圏、東は関東圏でサケ文化圏に属するといわれています。

米山の開祖は、泰澄といわれています。およそ千三百年前、福井県麻生津に生まれました。大宝二年（七〇二年）に時の天皇より、鎮護国大法師の称号を与えられています。

泰澄は白山で修業した後、能登の石動山、越中立山、越後では妙高山、弥彦山と次々に修験の道場を開きました。又仏教もひろめました。泰澄系の仏教寺院は、柏崎では大泉寺、蓮光院、刈羽村では善照寺、宝蔵寺、柿崎では密蔵院、吉川町では大光寺、岩戸寺、報恩寺などです。全山が信仰の対象の山でした。

石動神社信仰

泰澄は能登の石動山で修業しました。その足跡をたどることができます。柏崎市新道、刈羽村井岡、西山の甲田などに泰澄神社があったと思われるところは、柏崎市鯨波、上田尻、横山、矢田、加納、善根、久米、岡野町、刈羽村赤田町方、西山町灰爪、別山等です。

米山の名称

この山は往古からいろいろな名でよばれてきました。黒姫山に対して、白彦の峰、五輪山、恵名山、有明山、久米山等です。山頂に祀られている米山薬師は、江戸時代から農業神としての信仰が拡まりました。本来除病、長寿の仏である薬師如来が豊作を祈念する農業神となったのには理由があります。

農業を主体とする当時にあっては、この山の自然は農事のカレンダーだったのです。春の雪消え時になると、熊野神社左下の沢に「鯉形」が、又女人堂下には「種子蒔き男」があらわれ、春田の始まりを告げます。鯉形の尾の大きさでその年の豊凶を占います。タニウツギが赤い花をつける頃は田植えの真っ盛りです。稲刈りトンボとよばれる赤トンボが飛びかう時は稲刈りの最盛期です。

米山講、米山塔

神社や霊山を信仰した人々は、参拝の講をつくり、その記念として供養塔を建てました。講では伊勢講、富士講、塔では出羽三山塔、秋葉燈等があります。米山も農業神としての信仰を集め、各地に米山講が組織されました。その供養塔である米山塔が造立されました。当地方では大日山付近の曽地、八石山の北条、米山登り口の野田、海岸の鯨波、青海川あたりに多くみられます。講の代参者は、米山寺密蔵院で虫除けの黒札と薬草の当帰を持ち帰り、前者は田の水口に祀って虫よけに、当帰は家の戸口につるして魔除けとしました。米山は柏崎だけでなく、岩手、佐渡、鹿児島にもあります。当地方発祥の米山薬師信仰を、全国にもひろめた修験者がいたといわれています。

柏崎郷土物語（12）　岩下正雄（高18）

平成28年度総会へのお誘い

当番幹事長　真貝　維義（高23回）

平成28年度同窓会総会、私たち高23回生が当番幹事を務めさせていただきます。私たち高23回生は昭和46年（1971年）3月の卒業になりますが、月日の経つのは本当に早いもので高校を卒業して早45年になります。今回が最後の当番幹事となります。これまでも当番幹事を務めさせていただきましたが、これまでとは違った責任の重さを感じています。また、今年度は例年の開催会場であります柏崎産業文化会館に於いて還暦を祝う会を開催しました。当日は100名を超える同期生が集まり、卒業以来最大規模の同期会となり、40数年ぶりの顔ぶれもあり旧交を温めることができました。高23回生の同窓会総会への参加は、地元住者がほとんどですが、今年の総会は最後の当番幹事という事もあり、同期幹事からは少し輪を広げたらとの声も出ております。久しぶりに親父を深めたいと思います。

多くの同期の皆さんからの参加をお願いするとともに、お一人でも多くの同窓生からご参加をいただき同窓会を盛り上げていただきますようお願いいたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

平成27年度　関西柏会総会報告

関西柏会総会を平成27年10月25日（日）KKRくに荘（京都市）において開催しました。

第一部の総会では、来賓の上野校長、土田同窓会長から柏崎高校、同窓会の現況報告をいただきました。村田仙二関西柏会会長（高11回）からは、会の事業報告が行われ、8月に近畿圏で行われたインターハイに柏高女子ハンドボール部が出場したこと、8月3日に大阪府堺市立初芝体育館まで、会長、事務局長、学生の3名で応援に行ってきたことなどが報告されました。

第二部は、同志社女子大学（表象文化学部日本語日本文学科）教授本間洋一氏（高23回卒）を講師に「漢字と漢詩に遊んで」の講題で講演をいただきました。漢字の成り立ちや文字（漢字）変化など、様々な視点から漢字にまつわるお話を聞かせていただきました。

第三部の懇親会では、恒例の参加者全員の近況報告も行われました。参加者には京都大学、奈良女子大学の現役大学生（いずれも高66回卒）2名の参加もあり、大先輩から学生まで世代を超えた楽しい交流の会となりました。最後は、校歌エール、大阪締めで会を閉じました。

（高31回）記事務局長・山崎　学

新潟柏会の紹介

新潟地区の柏中柏高同窓生は、約八百余名。企業、行政、医療、警察、教育、報道、法曹界関係など、多士済々の面々である。

定例総会は、例年、八月末の土曜日に、新潟駅前バスターミナルの真向かいのビル三階にあるパーティー会場「＋3（プラスサード）」で開催。交通至便で参加者に好評。

参加者は、毎年、五〇～六〇人位で、新潟市や新発田市、阿賀野市、三条市からの出席者の他、転勤等で新潟へ来られた会員の参加者もあり。高校時代の思い出話から郷里の話題になると、思いがけない出会いがあったり、時には、商談成立まで。賑やかなこと限りなし。座席は近接年度に配慮した指定席を用意。

総会は、会務・会計報告の後、来賓（恩師、母校校長、本部・東京&関西支部代表）挨拶、そして、恒例となった生田房弘前会長（顧問）のミニ講義。また、数年置きに会員による興味深い講話で花を添えている。

近年、現役の女性や若手の初参加（五～六名）があって嬉しい。総会案内状には、前年度の参加者座席表を添えている。

同窓会のメリットは、総会に参加して初めて得られるもの。さあ、足を運んでください！

夏の新潟柏会総会へ！

会長・室賀美津雄（高8回）記

▲零戦の大型模型と横関健一さん

◀愛用した写真機・ライカ

がんばれ！同窓生⑩

中学生の時代に作った
オール手作りの飛行機模型

趣味は〝童心〟

横関健一さん　高10回卒

教育界で活躍した横関健一さん（高10回卒）は、精密さ、横関さんは「コックピットの小さな部品2個がどうしても取り付けられなかった」と悔やむ中でも群を抜く。

横関さんが模型を作り始めたのは中学時代。当時はキットなどは売っていなかった。横関さんは友達からもらった冊子「零戦日本海軍航空小史」の付録に付いていた設計図をもとに木製の飛行機をナイフと小刀を使ってすべて手作りで製作した。コックピットの窓はセルロイドをお湯に漬けてアールを付けた。プロペラの軸受けにもワッシャーを使い、回転を良くする工夫を施している。75分の1の小さな模型だが零戦よりもむしろ思い入れが深い作品の一つかお師匠として子どもの心をそのまま持ち続けた横関さん。もう一つの趣味、写真にもそれが現れている。

写真も中学時代からの趣味。当時は電気を消せば漆黒の暗闇、暗室などは必要がなかった。常時使用していたのは高級カメラのライカ。親せきからもらい受けたものという。一時、1923年製ライカが1億5千万円で落札のニュースが流れたこともあったが、横関さんも20年代後半のライカ。ひょっとしてひょっとする。

撮った写真を整理するため専用のスキャナも購入。コンピュータは写真の整理専用でインターネットなどには全く使っていない。昭和三十年代後半の大巻中学校（旧南魚沼郡）の教諭時代の写真集を平成27年に刊行した。大自然に囲まれた子どもたちの笑顔があふれるモノクロの写真の数々。当時の夢と希望を抱いた時代をみごとに写し出している。本に収録した写真の数々はギャラリー十三代目長兵衛、新潟産業大学、トミオカホワイト美術館で展示され、好評を博した。今度は写真集のターゲットはブラジル、リオ五輪か。

日本メッキ工業株式会社
取締役社長　関矢浩章（高23）
柏崎市田塚三―二―八三
TEL二二―二一七三

原酒造㈱
原　吉隆（高28）
柏崎市新橋五―十二

㊥中藤商店
中村藤浩（高30）
柏崎市七方一三
TEL（〇二五七）二二―四四〇五
FAX（〇二五七）二二―二〇四〇

新潟産業大学
学　長　北原保雄（高7）
副学長　広川俊男（高20）
事務局長　金子和裕（高26）
〒945-1393　柏崎市軽井川4730

新沢歯科医院
新澤秀樹（高22）
柏崎市穂波町二番二号

柏崎日報社
代表取締役会長
山田明彦（高18）

ひまわり歯科医院
ひまわりフットケアセンター
院　長　鈴木公子（高30）
歯科医師　畠　浪穂（高42）
柏崎市西山町西山206―11
TEL 0257-48-2152

佐藤塗料株式会社
代表取締役社長　佐藤裕幸（高20）
代表取締役会長　佐藤信義（中39）
柏崎市駅前二丁目一番四三号

㈱ライブ商事　新車・中古車販売・整備
代表取締役　髙野　毅（高30）
事務所　長岡市幸町一丁目三番一〇号
高野・星野法律事務所
〒940-0084
TEL〇三五八―四四四四
FAX〇三五八―三五一四四四七八

佐藤塗料株式会社
代表取締役社長　佐藤裕幸（高20）
代表取締役会長　佐藤信義（中39）
柏崎市駅前二丁目一番四三号

㈱ライブ商事　新車・中古車販売・整備
代表取締役　品田　優（高16）
柏崎市小金町十一番六七号

部活で燃えろ　進路で輝け
新潟産業大学附属高等学校
校長・理事　小野敏夫（高16）
教　頭　関矢等（高25）
柏崎市安田二五一〇―二

本間内科医院
本間　保（高21）
柏崎市北半田一―一―四八
TEL（二二）三六六六

柏崎市長峰町七番六号
株式会社イシザカ
代表取締役　石坂泰男（高35）

東京柏会副会長
辯護士　今井健子（高13）
〒116-0013　東京都荒川区西日暮里二丁目二五番一―804号
ステーションガーデンタワー
TEL〇三―三八九一―七五一五
FAX〇三―三八九一―五三三三

矯正歯科・歯科・小児歯科
きたざわ歯科
かみあわせ研究所
北澤智昭（高23）
柏崎市幸町一―七・TEL(22)六二三一

小形商工株式会社
代表取締役社長　小形明彦（高16）
新潟市東区浜谷町二丁目三番六七号
TEL〇二五（二七四）三二五六

株式会社阿部建設
取締役会長　阿部弘一（高7）
代表取締役　阿部尚義（高35）
〒945-0047　柏崎市比角一丁目二一六
TEL（〇二五七）二三―二一七三
FAX（〇二五七）二三―七六八四

㈱会田写真館
スタッフ一同
柏崎市扇町一―一八
TEL二二三―六二四八

株式会社植木組
取締役会長　植木康之（高15）
取締役社長　植木義明（高23）
新潟県柏崎市新橋二番八号

㊢みずち
水地　学（高41）
柏崎市柳橋町二一四
TEL（〇二五七）二二―四五五
FAX（〇二五七）二二―九二二